

推薦します

します。

この時期は、文部省実験学校や民間諸団体のカリキュラム研究が、コア・カリキュラムを中心に全国的に展開されましたが、その全体的な実相については、各学校の実践を深く掘り下げて研究する必要があります。私が整理した戦後改革期文部省実験学校のカリキュラム研究は、驚くほど深く豊かな内容で、本資料集に収集された実践などのような関係構造にあるのか興味があります。

都道府県教育委員会が発足したこの時期、文部省ではなく各教育委員会が学習指導要領編成と教科書検定を担うことが予定されていたので、それぞれ独自の学習指導要領編成に向けた研究をしている時代でした。そうした背景もあって、カリキュラム開発が全国的に展開された結果、本資料集に収集されるような多くのカリキュラム研究が結実しました。

改めて、この貴重な資料集が各大学・図書館・研究者の書棚に揃えられるよう推薦

カリキュラム研究の基礎を築く貴重な資料集

元日本カリキュラム学会代表理事
早稲田大学特任教授・東北大学名誉教授

水原克敏

本資料集は、カリキュラム研究の基礎を築く大変有意義な刊行であり、推薦申し上げます。

カリキュラム研究にとって、戦後改革期は一大宝庫であるにも拘わらず、これまで基礎的な資料の収集・整理が遅れていました。優れた研究論文は散見されますが、残念ながら、カリキュラム研究の観点から吟味された、共通に確認すべき資料整理の基盤が貧弱でした。本資料集の刊行は、その基盤を築く大切な一歩となります。カリキュラムが、どのように構想・編成され、実践され、そして評価改善されたのか、収集された各学校の真摯な取り組みの事実から確認することができます。

この時期は、文部省実験学校や民間諸団体のカリキュラム研究が、コア・カリキュラムを中心に全国的に展開されましたが、その全体的な実相については、各学校の実践を深く掘り下げて研究する必要があります。私が整理した戦後改革期文部省実験学校のカリキュラム研究は、驚くほど深く豊かな内容で、本資料集に収集された実践などのような関係構造にあるのか興味があります。

推薦します

その後、一九五八年の学習指導要領改訂を機に経験主義から系統主義へと転換した。しかし、やがて経験学習の要素が見直されていき、一九九八年版で誕生した「総合的な学習の時間」は、経験学習の時間とも言いうるものとなった。今日、「アクティブラーニング」や「主体的・対話的で深い学び」が叫ばれているが、経験学習といえは「learning by doing」であり、換言すれば問題解決学習である。戦後初期に各地の教師が自主的に作成したカリキュラムが、いま時代をこえて再び輝きを取り戻す。

子どもと地域にそくしたカリキュラム自主編成の貴重な記録

横浜市立大学教授 高橋寛人

CIE(民間情報教育局)は、当時米国で最も進歩的とされていた経験カリキュラムを日本に普及させようと、各種の講習会・研究会を文部省・教育委員会等に開催させた。視学にかかわる指導主事・旧師範学校教員などを対象とする教育指導者講習会(I F E L)や、現職教員向けの小学校教員研究会・中等教育研究会が各地で繰り返し開かれた。これらはワークショップ形式により、参加者が経験学習を体験しながら学ぶという特色を持っていた。ほかに、教育図書や実験学校などを通じて経験カリキュラムが伝えられた。コア・カリキュラムは、最も徹底した経験カリキュラムであるから、しばしば経験カリキュラムの意味で使われるようになった。

教師たちは、当時、食糧をはじめ物資が欠乏する中で、それぞれの学校で子どもと地域にそくした新しいカリキュラムを開発した。本資料集は、これらを丹念に収集し、重要資料を復刻したものである。経験カリキュラムを日本の教師がいかに受け入れ、あるいは改編・発展させたのかを知る上で貴重な資料群である。



【コア・カリキュラム】

カリキュラムにコア(中心、中核)を設け、そこで生活活動を広げ深めることを目的とする中心課程に、その手段(道具、用具)として必要となった教科の技能、態度、知識を教える周辺課程ほかを、有機的に関連させた総合的なカリキュラム。

これは戦後初期、1948年～1950年代前半にかけて、全国各地の学校(特に小学校)と教師のうちに、カリキュラム・ブームを巻き起こす契機となったものである。一金馬国晴「コア・カリキュラム」(『現代教育方法事典』2004年、ぎょうせい)

戦後教育改革の空白を埋める貴重な資料！

【日本現代史シリーズ5】

教育刷新委員会総会 配布資料集全3巻

●解題 高橋寛人（横浜市立大学教授）

●体裁 B5判・上製・約1,700頁

●定価 本体90,000円＋税

ISBN978-4-908823-05-3 C3337

戦後教育改革を研究するには、教育刷新委員会の検討が不可欠である。教育刷新委員会での審議録は、『教育刷新委員会・教育刷新審議会会議録』全13巻（岩波書店）として刊行されているが、会議での配布資料は収録されていない！

本書『教育刷新委員会総会配布資料集』では、教育刷新委員会の第1回～第80回総会（1946年9月7日～1948年10月15日）に配布された資料を収録。

【日本現代史シリーズ6】

教育刷新審議会 配布資料集全4巻

●解題 井深雄二（大阪体育大学教授・奈良教育大学名誉教授）

●体裁 B5判・上製 約2,000頁

●定価 本体120,000円＋税

ISBN978-4-908823-27-5 C3337

『教育刷新委員会総会配布資料集』（全3巻 2016年6月刊）に続き、本書『教育刷新審議会配布資料集』で教育刷新委員会・教育刷新審議会関係の現存する資料をほとんど全部復刻。

昭和24年6月～昭和27年6月までの簿冊「教育刷新審議会配布資料等」全5冊と付録の簿冊「教育刷新審議会」1冊を収録。戦後教育改革の理念の生成を知る上での第一級資料が完結。

岩波版『教育刷新委員会・教育刷新審議会会議録』（全13巻）
を補完する教育史研究者必携資料。

●推薦します 東京大学・立教大学名誉教授 寺崎昌男